

碧南市公共施設カルテ

調査年度 令和7年度

施設名	新川児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	56
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 新川町2丁目1番地1 (新川小学校区)	敷地面積 うち借地面積	581 m ² - m ²
----------------	----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	新川児童クラブ、新川児童クラブ分館、新川児童クラブ増築			
複合・併設施設	-			
建築年度	平成8～平成28年度	経過年数	9～29年	総取得費 -千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	451 m ²	うち借用面積 - m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定 指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	141人	135人	134人	137人	指定管理(混合)
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
収入	利用料等	8,200,692	支出	人件費	-
	国費	-		修繕料	220,648
	県費	-		火災保険料	-
	その他	2,229		維持管理委託料	792,441
	市費(一般財源)	35,190,665		敷地借上料	-
	合計	43,393,586		工事請負費	3,400,100
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観			その他維持費	-
				小計	4,413,189
			②運営コスト	人件費	31,719,653
				光熱水費	3,470,107
				その他委託料	492,283
				その他運営費(事業費)	3,298,354
				小計	38,980,397
				合計(①+②)	43,393,586
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		
	316,742円/人		96,216円/m ²		
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		
	59,859円/人		488円/人		
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

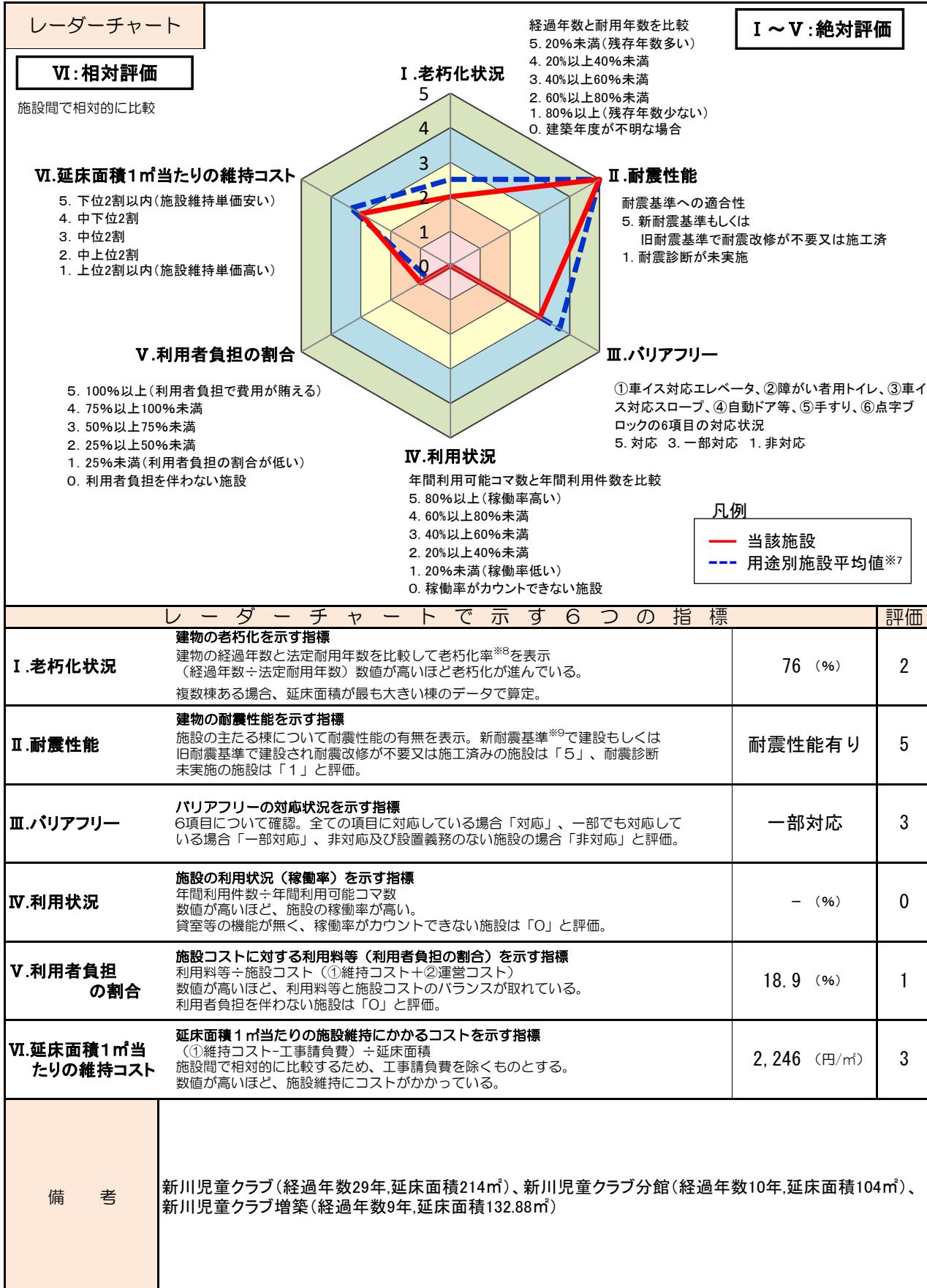
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	中央児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	57
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 向陽町3丁目19番地 (中央小学校区)	敷地面積 うち借地面積	631 m ² - m ²
----------------	------------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	中央児童クラブ、中央児童クラブ分館、中央児童クラブ分館			
複合・併設施設	-			
建築年度	平成10～平成31年度	経過年数	6～27年	総取得費 -千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	354 m ²	うち借用面積 - m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定 指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	94人	98人	107人	100人	指定管理(混合)	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	収入	利用料等 国費 県費 その他 市費(一般財源)	4,997,153 - - 1,357 17,863,715	支出	人件費 修繕料 火災保険料 維持管理委託料 敷地借上料 工事請負費 その他維持費	- 203,311 - 482,958 - - - 686,269
+ ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費		合計	22,862,225		人件費 光熱水費 その他委託料 その他運営費(事業費)	19,328,225 652,072 144,992 2,050,667 22,175,956
		施設外観			合計(①+②)	22,862,225
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4			
	228,622円/人		64,583円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	49,972円/人		248円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

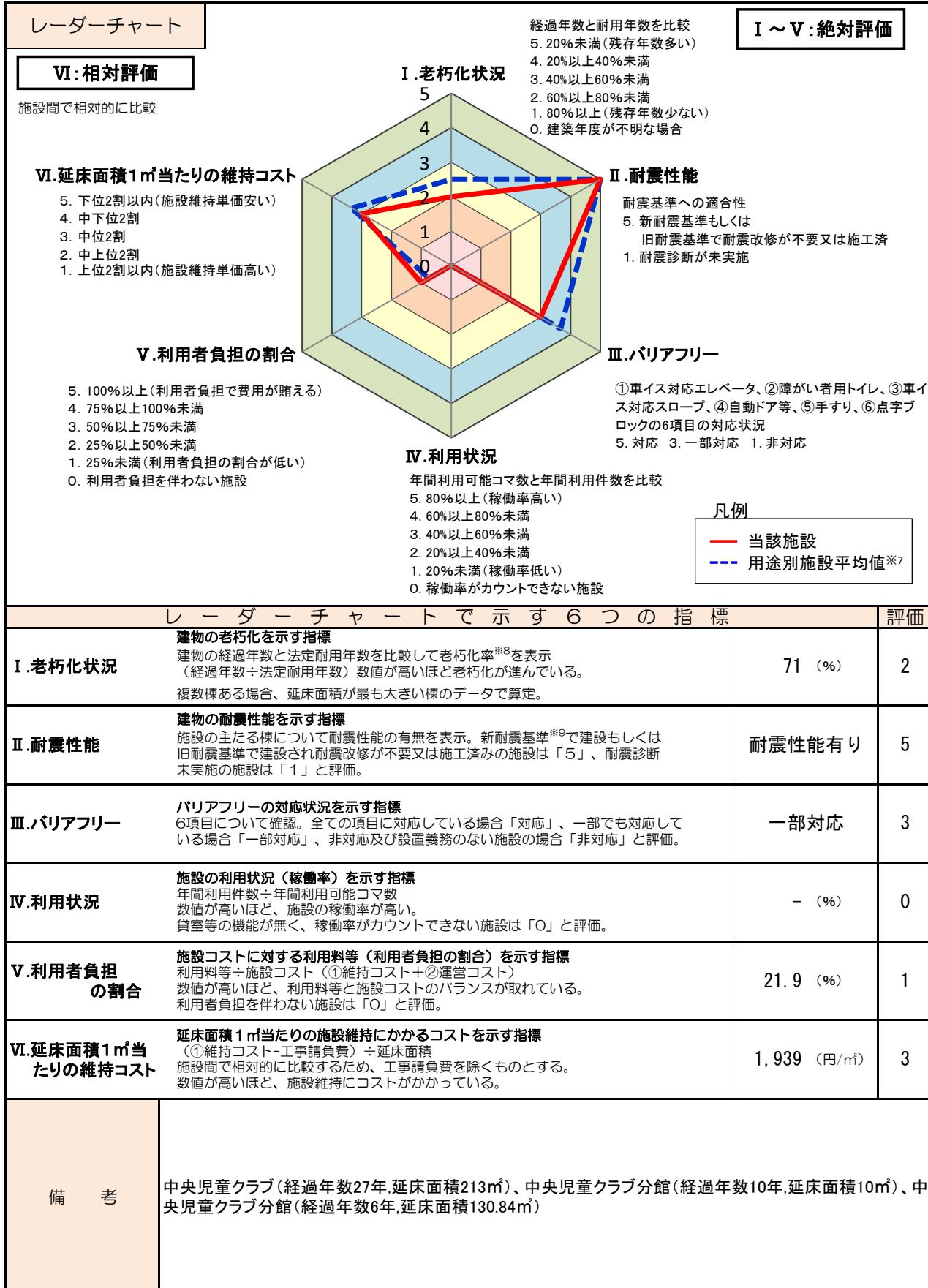
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度 令和7年度

施設名	大浜児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	58
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 浜田町1丁目1番地 (大浜小学校区)	敷地面積 うち借地面積	514 m ² - m ²
----------------	-----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	大浜児童クラブ、大浜児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成12～平成19年度	経過年数	18～25年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	217 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	85人	75人	76人	79人	指定管理(混合)	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	収入	利用料等 国費 県費 その他 市費(一般財源)	3,745,527 - - 1,018 13,330,605	支出	人件費 修繕料 火災保険料 維持管理委託料 敷地借上料 工事請負費 その他維持費	- 100,778 - 361,920 - - - 462,698
+ ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費		合計	17,077,150		人件費 光熱水費 その他委託料 その他運営費(事業費)	14,487,482 488,755 108,744 1,529,471 16,614,452
		施設外観			合計(①+②)	17,077,150
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4			
	216,166円/人		78,697円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	47,412円/人		185円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

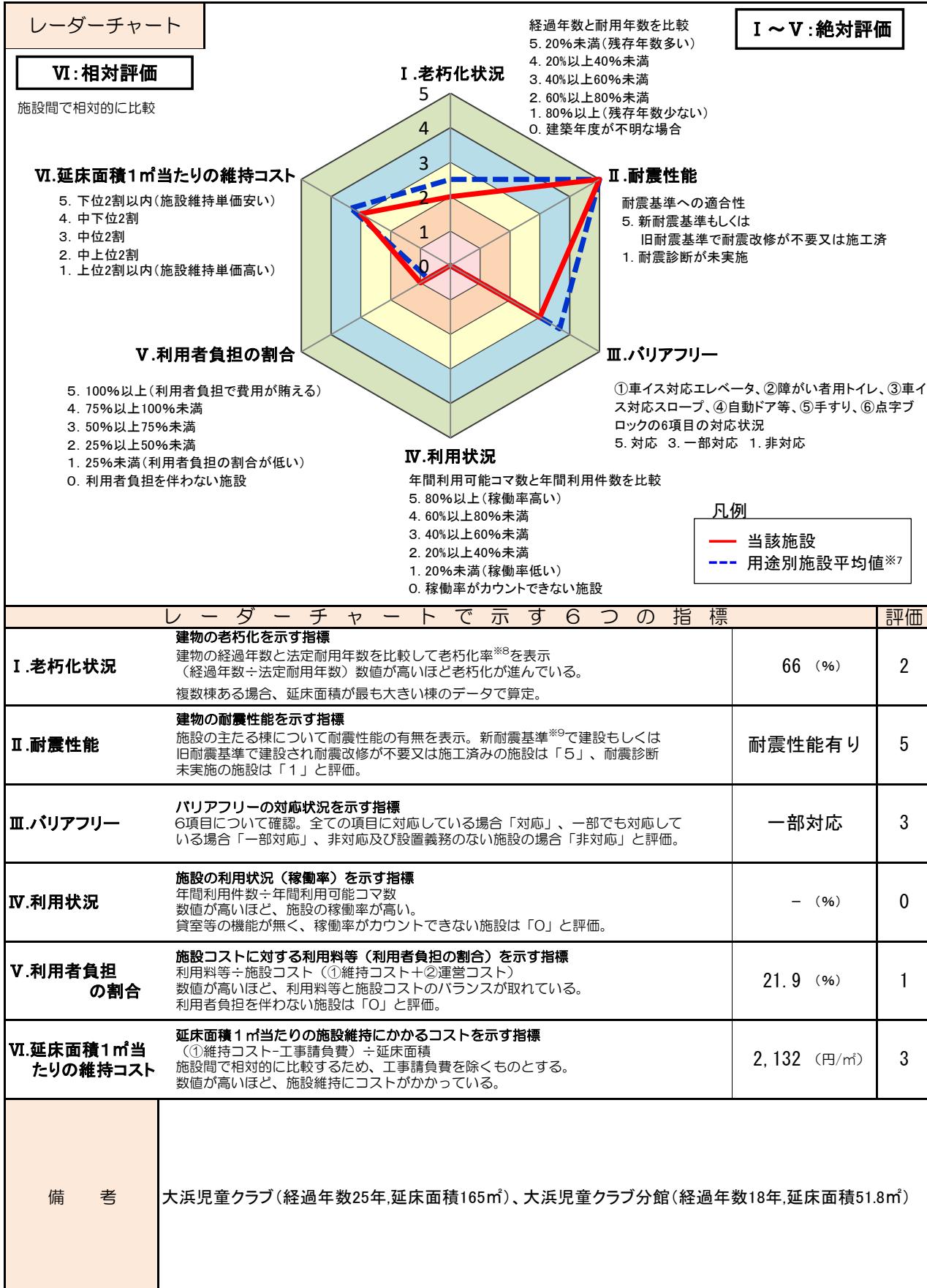
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	棚尾児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	59
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 春日町1丁目2番地 (棚尾小学校区)	敷地面積	568 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	棚尾児童クラブ、棚尾児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56～平成21年度	経過年数	16～44年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	368 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	116人	121人	114人	117人	指定管理(混合)
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
収入	利用料等	7,566,438	支出	人件費	-
	国費	-		修繕料	183,577
	県費	-		火災保険料	-
	その他	2,055		維持管理委託料	-
	市費(一般財源)	26,908,468		敷地借上料	731,369
	合計	34,476,961		工事請負費	-
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観			その他維持費	-
				小計	914,946
			①維持コスト	人件費	29,265,335
				光熱水費	987,327
				その他委託料	219,448
				その他運営費(事業費)	3,089,905
			②運営コスト	小計	33,562,015
				合計(①+②)	34,476,961
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		
	294,675円/人		93,687円/m ²		
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		
	64,670円/人		373円/人		
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

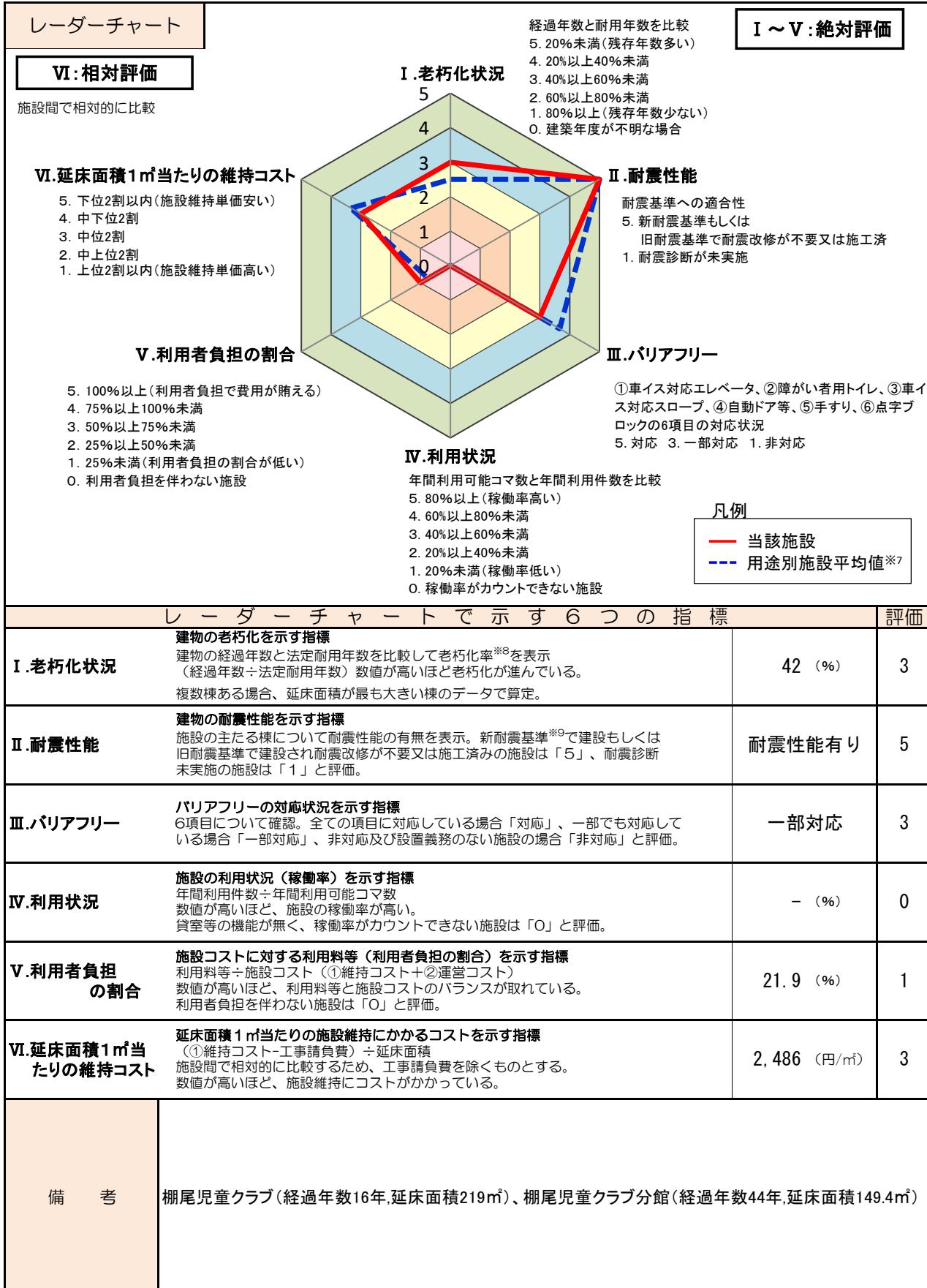
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	日進児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	60
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 日進町4丁目1番地 (日進小学校区)	敷地面積 うち借地面積	676 m ² - m ²
----------------	---------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	日進児童クラブ				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成12年度	経過年数	25年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	161 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	59人	55人	60人	58人	指定管理(混合)
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
収入	利用料等	2,202,396	支出	人件費	-
	国費	-		修繕料	372,749
	県費	-		火災保険料	-
	その他	596		維持管理委託料	94,324
	市費(一般財源)	7,977,921		敷地借上料	-
	合計	10,180,913		工事請負費	-
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観			その他維持費	-
				小計	467,073
			②運営コスト	人件費	8,517,346
				光熱水費	287,370
				その他委託料	63,679
				その他運営費(事業費)	845,445
				小計	9,713,840
				合計(①+②)	10,180,913
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		
	175,533円/人		63,235円/m ²		
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		
	37,972円/人		111円/人		
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

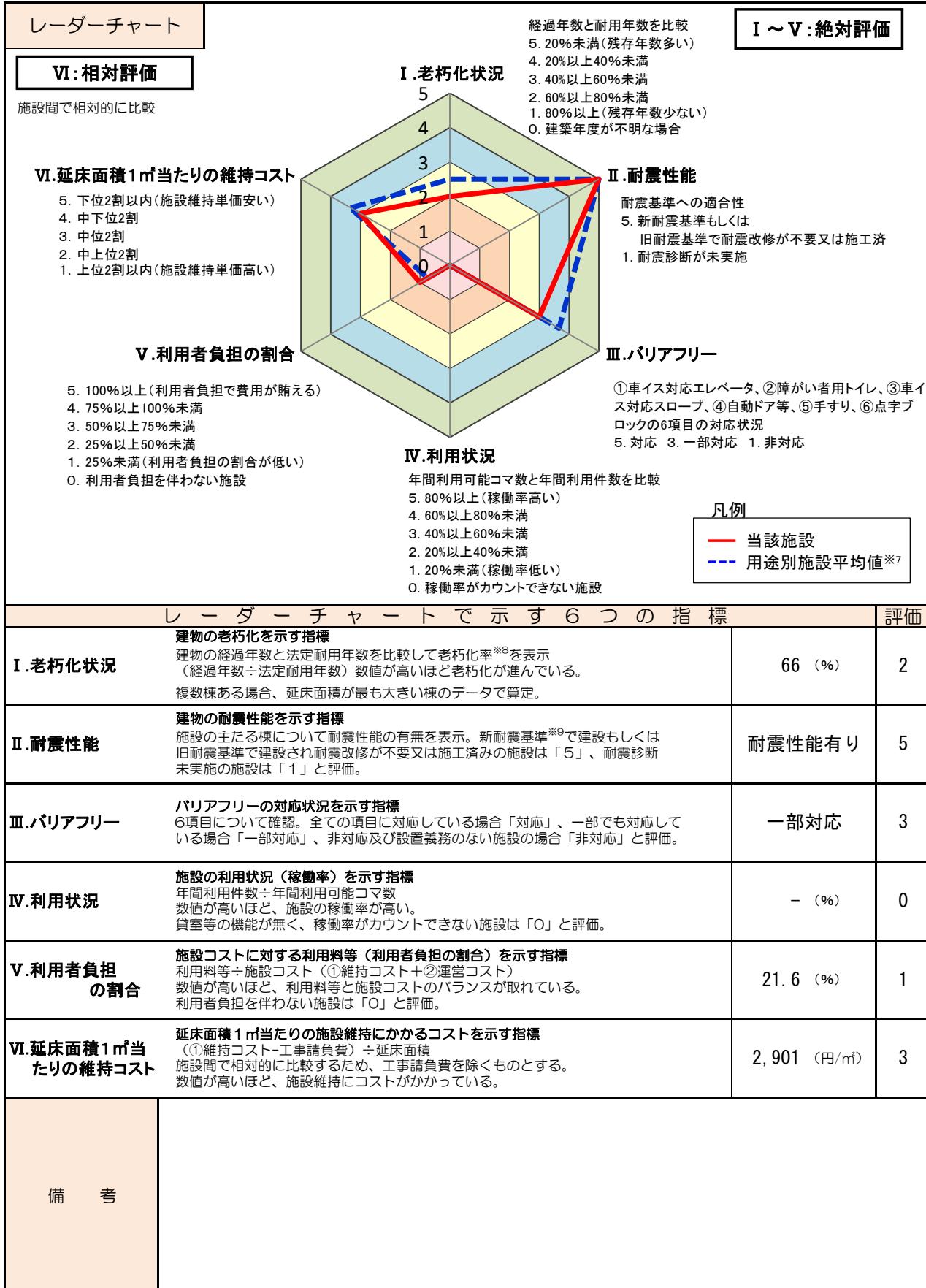
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	鷺塚児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	61
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 旭町2丁目30番地 (鶯塚小学校区)	敷地面積	837 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	鷺塚児童クラブ(本館)、鷺塚児童クラブ(分館)				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成11～平成20年度	経過年数	17～26年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	209 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	81人	95人	91人	89人	指定管理(混合)	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	3,525,018	支出	人件費	-
		国費	-		修繕料	94,830
		県費	-		火災保険料	-
		その他	954		維持管理委託料	341,101
		市費(一般財源)	12,488,873		敷地借上料	-
		合計	16,014,845		工事請負費	-
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観				その他維持費	-
					小計	435,931
					②運営コスト	
					人件費	13,663,922
					光熱水費	459,944
					その他委託料	101,886
					その他運営費(事業費)	1,353,162
					小計	15,578,914
					合計(①+②)	16,014,845
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4			
	179,942円/人		76,626円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	39,607円/人		173円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

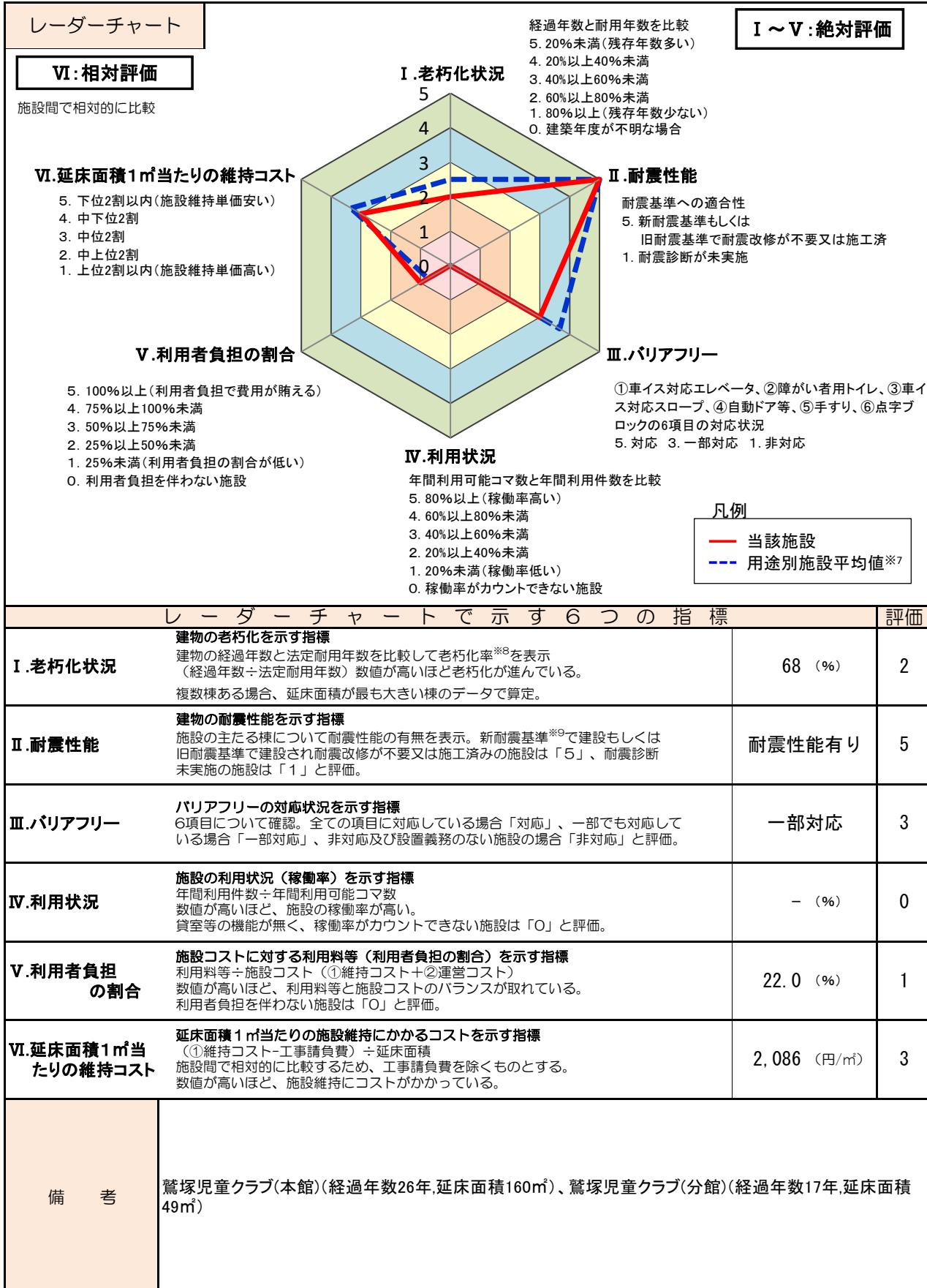
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	西端児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	62
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 上町3丁目1番地 (西端小学校区)	敷地面積 うち借地面積	394 m ² - m ²
----------------	----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	西端児童クラブ、西端児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成10～平成19年度	経過年数	18～27年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	197 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	54人	55人	53人	54人	指定管理(混合)
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
収入	利用料等	2,347,227	支出	人件費	-
	国費	-		修繕料	95,241
	県費	-		火災保険料	-
	その他	948		維持管理委託料	341,914
	市費(一般財源)	13,966,581		敷地借上料	-
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	合計	16,314,756		工事請負費	-
+ ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観			その他維持費	-
				小計	437,155
			②運営コスト	人件費	13,684,487
				光熱水費	644,849
				その他委託料	102,866
				その他運営費(事業費)	1,445,399
				小計	15,877,601
				合計(①+②)	16,314,756
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		
	302,125円/人		82,816円/m ²		
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		
	43,467円/人		194円/人		
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

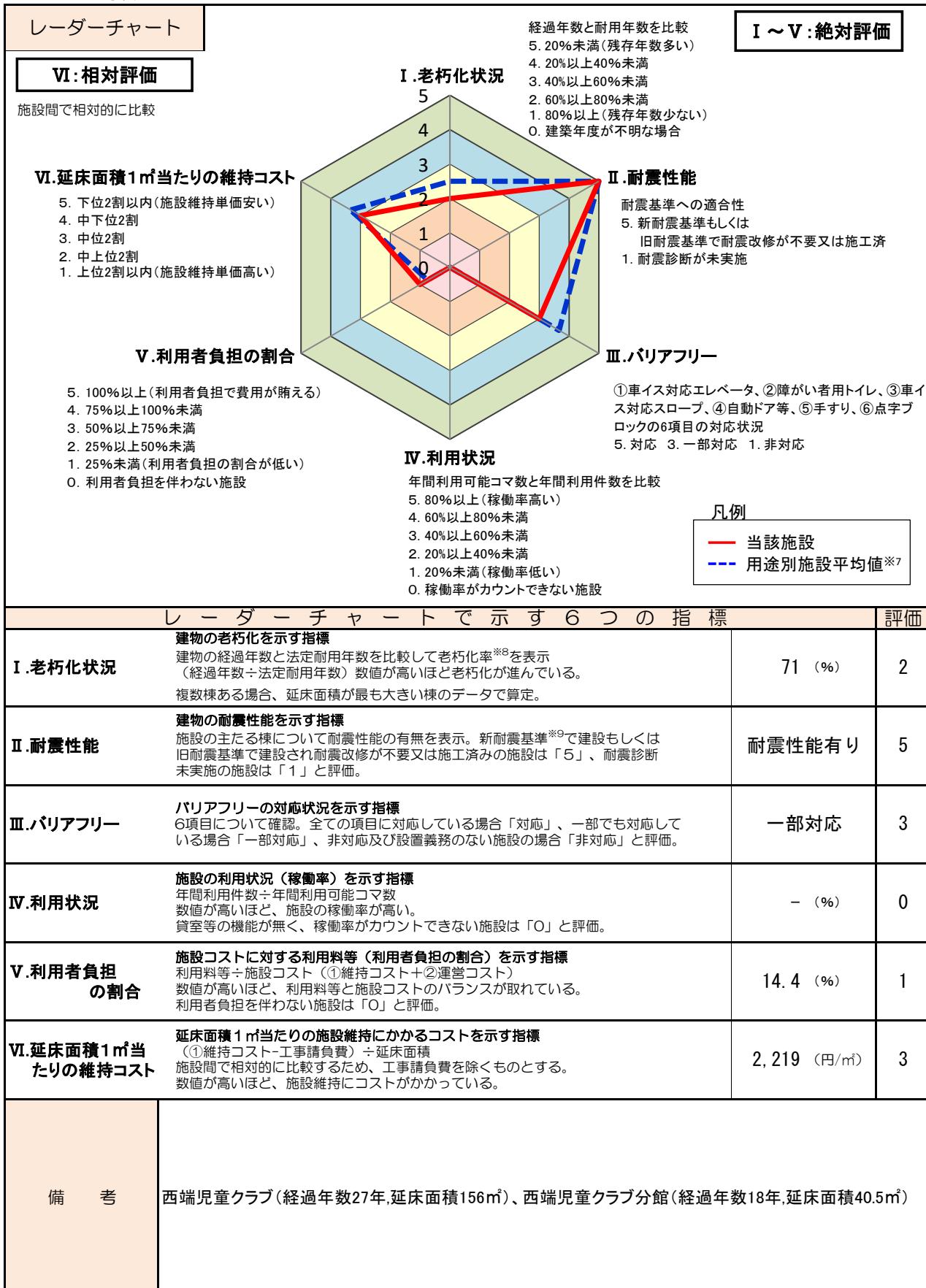
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	棚尾児童センター			
従たる施設の場合、主たる施設名	棚尾公民館			
大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号
				63
所管部局	こども課			
1 土地データ				
所在地 (小学校地区)	碧南市 汐田町2丁目28番地 (棚尾小学校区)	敷地面積	- m ²	
		うち借地面積	- m ²	
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)				
構成棟	棚尾児童センター			
複合・併設施設	棚尾公民館			
建築年度	平成10年度	経過年数	27年	総取得費
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	369 m ²	うち借用面積
階数(地上)	-階	階数(地下)	-階	避難所指定
3 管理運営データ				
利用状況※1	令和4年度 16,092人	令和5年度 23,157人	令和6年度 22,518人	平均利用者数 20,589人
施設コスト※2 (R4~R6年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	収入	利用料等	人件費	-
		国費	修繕料	154,539
		県費	火災保険料	-
		その他	維持管理委託料	-
		市費(一般財源)	敷地借上料	-
		合計	工事請負費	-
		10,261,639	その他維持費	-
	支出		小計	154,539
		施設外観	②運営コスト	
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3	延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		
	498円/人	27,809円/m ²		
	利用者1人当たりの負担額※5	市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		
	-円/人	142円/人		
特記事項				

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

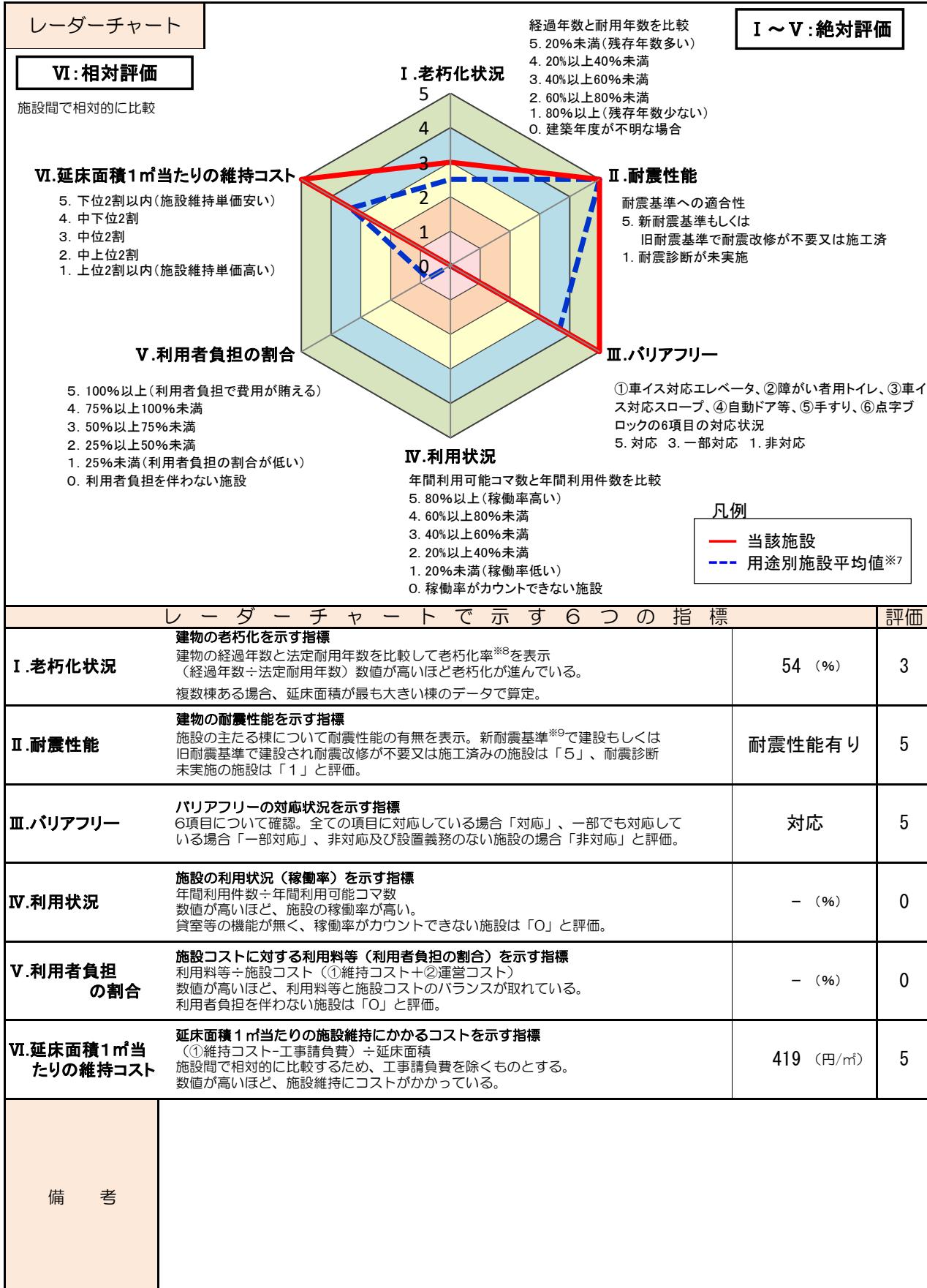
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	東部児童センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	東部市民プラザ		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	64
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 照光町5丁目3番地 (鶯塚小学校区)	敷地面積 うち借地面積	- m ² - m ²
----------------	-----------------------------	----------------	--------------------------------------

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	東部児童センター				
複合・併設施設	東部市民プラザ、高齢者元気ッス館				
建築年度	平成12年度	経過年数	25年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	314 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	-階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	14,171人	16,090人	17,593人	15,951人	指定管理(管理料)	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	収入	利用料等 国費 県費 その他 市費(一般財源)	- - - 836 5,853,912	支出	人件費 修繕料 火災保険料 維持管理委託料 敷地借上料 工事請負費 その他維持費 小計	- 37,882 - - - - - 37,882
+ ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観	合計	5,854,748	②運営コスト	人件費 光熱水費 その他委託料 その他運営費(事業費) 小計 合計(①+②)	5,225,118 - 134,458 457,290 5,816,866 5,854,748
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4			
	367円/人		18,646円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	-円/人		81円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

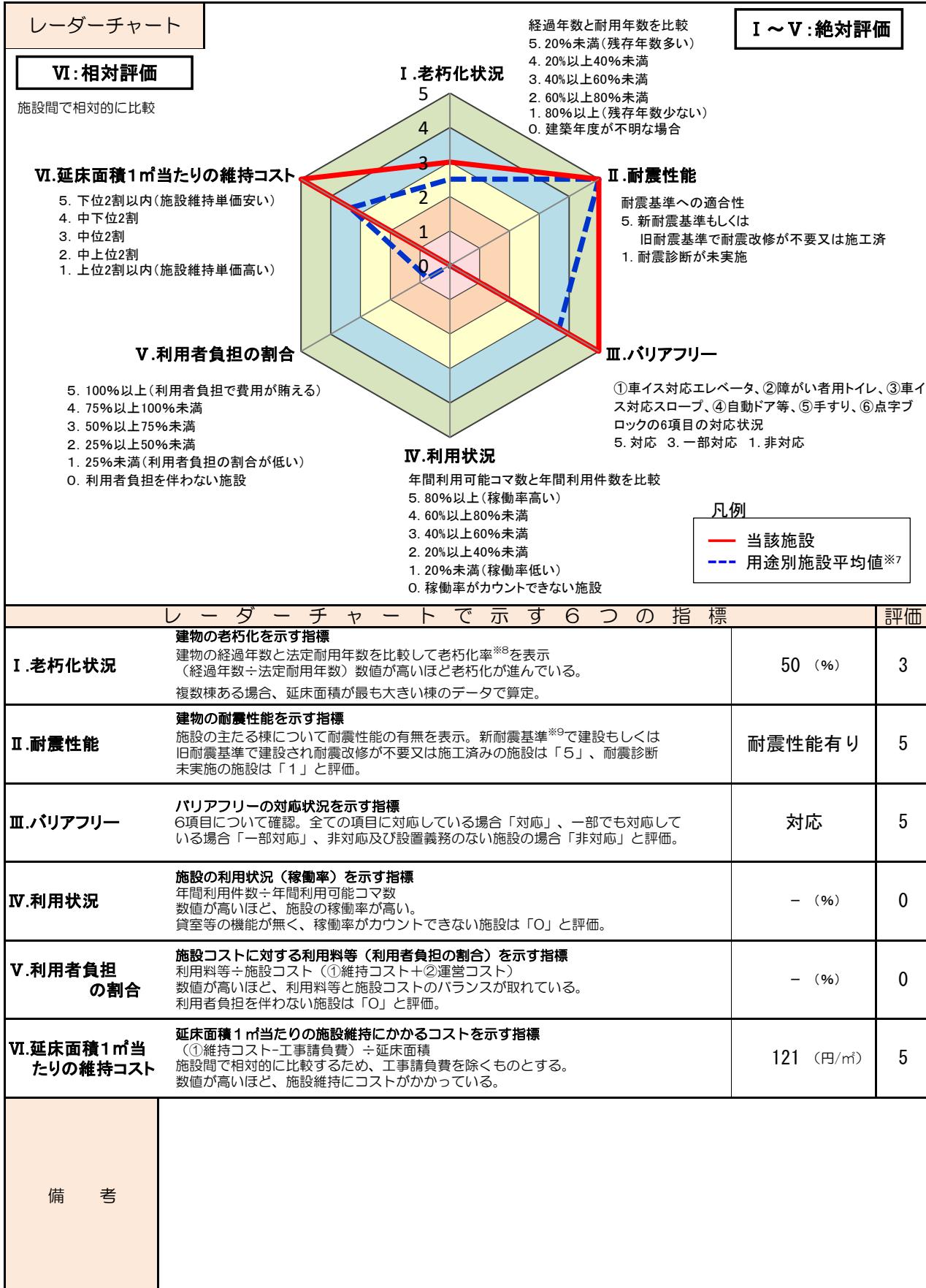
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度 令和7年度

施設名	こどもプラザららくるにしばた		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	65
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 三度山町2丁目53番地 (西端小学校区)	敷地面積 うち借地面積	1,868 m ² 1,013 m ²
----------------	-------------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	ららくるにしばた			
複合・併設施設	-			
建築年度	平成21年度	経過年数	16年	総取得費
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	660 m ²	うち借用面積
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	17,232人	21,433人	26,766人	21,810人	指定管理(混合)	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
		収入	利用料等	123,017	支出	
			国費	-	人件費	-
			県費	-	修繕料	259,641
			その他	1,087	火災保険料	-
			市費(一般財源)	10,192,362	維持管理委託料	2,726,631
		合計		10,316,466	敷地借上料	-
①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費		合計		工事請負費	-	
+ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費		施設外観		その他維持費	-	
				小計	2,986,272	
				支出		
				①維持コスト	人件費	6,351,654
					光熱水費	-
					その他委託料	-
					その他運営費(事業費)	978,540
					小計	7,330,194
					合計(①+②)	10,316,466
コスト状況		利用者1人当たりの施設コスト※3	延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4			
		473円/人	15,631円/m ²			
特記事項		利用者1人当たりの負担額※5	市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
		6円/人	141円/人			

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

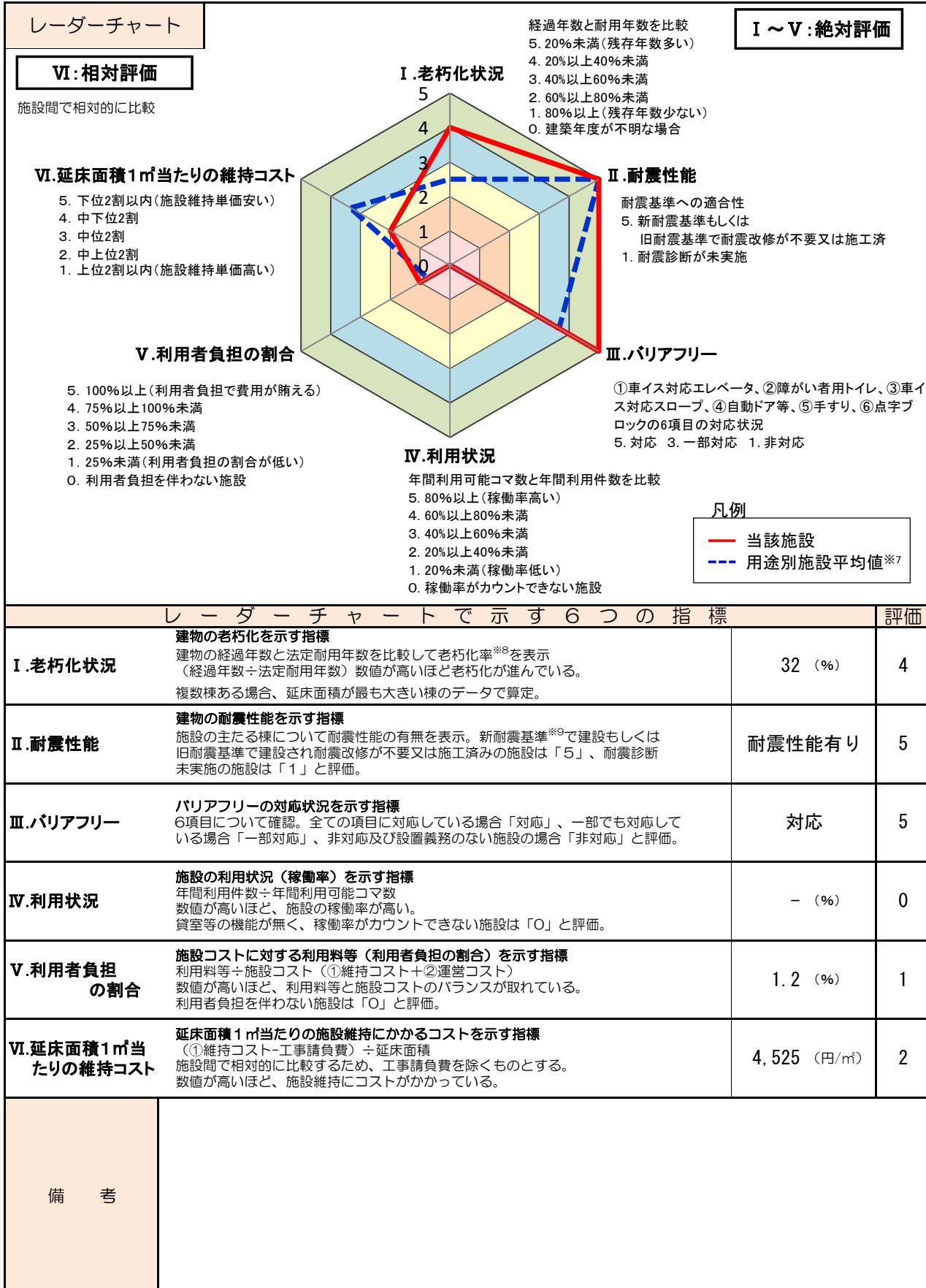
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	こどもプラザこころつくしんかわ					
従たる施設の場合、主たる施設名	へきなん福祉センターあいくる					
大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号		
				66		
所管部局	こども課					
1 土地データ						
所在地 (小学校地区)	碧南市 山神町8丁目35番地 (新川小学校区)	敷地面積	- m ²			
		うち借地面積	- m ²			
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)						
構成棟	こころつくしんかわ					
複合・併設施設	へきなん福祉センターあいくる、市民活動センター、心身障害者福祉センター					
建築年度	平成25年度	経過年数	12年	総取得費		
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	548 m ²	うち借用面積		
階数(地上)	-階	階数(地下)	-階	避難所指定		
3 管理運営データ						
利用状況 ^{※1}	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数		
	14,002人	20,851人	30,278人	21,710人		
施設コスト ^{※2} (R4~R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	800	支出	人件費	-
		国費	-		修繕料	58,447
		県費	-		火災保険料	-
		その他	983		維持管理委託料	16,000
		市費(一般財源)	13,421,139		敷地借上料	-
		合計	13,422,922		工事請負費	-
	施設外観				その他維持費	-
					小計	74,447
					①維持コスト	
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費		人件費	12,567,211		②運営コスト	
		修繕料	-		光熱水費	-
		火災保険料	-		その他委託料	87,293
		維持管理委託料	16,000		その他運営費(事業費)	693,971
		敷地借上料	-		小計	13,348,475
		工事請負費	-		合計(①+②)	13,422,922
		その他維持費	-			
		小計	74,447			
		①維持コスト				
		②運営コスト				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}	延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}				
	618円/人	24,494円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額 ^{※5}	市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{※6}				
	-円/人	186円/人				
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

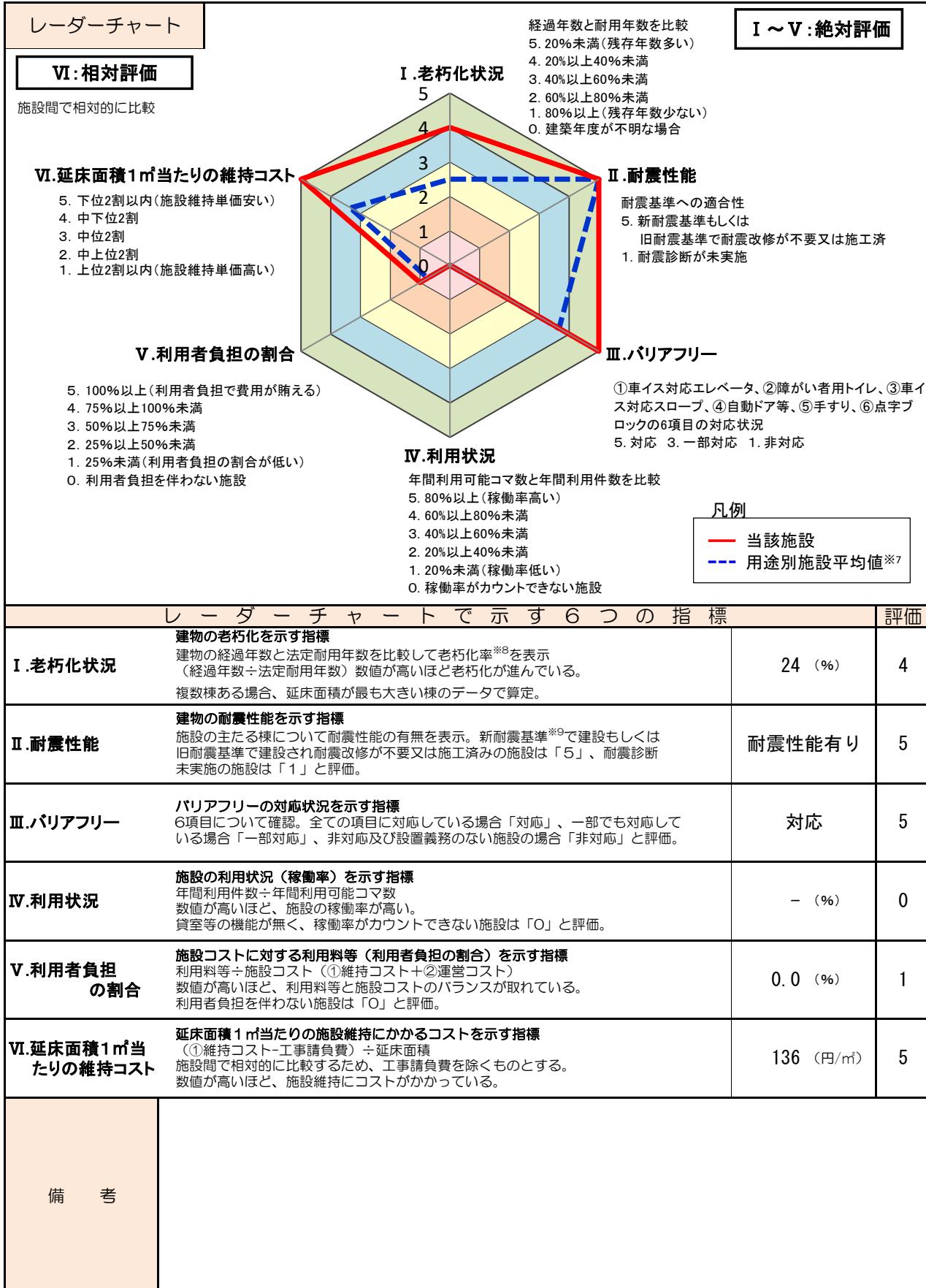
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	にじの学園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	児童福祉施設	施設番号	67
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 宮町4丁目1番地2 (大浜小学校区)	敷地面積 うち借地面積	1,366 m ² 215 m ²
----------------	-----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	作業所、自転車置き場、保育室				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和61～平成18年度	経過年数	19～39年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	463 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	16人	8人	23人	16人	直営	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	収入	利用料等 国費 県費 その他 市費(一般財源)	- - - 292,000 46,207,873	支出	人件費 修繕料 火災保険料 維持管理委託料 敷地借上料 工事請負費 その他維持費 小計	- 673,420 11,801 1,311,554 211,555 - - 2,208,330
②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	+ 施設外観 	合計	46,499,873	②運営コスト	人件費 光熱水費 その他委託料 その他運営費(事業費) 小計 合計(①+②)	34,297,369 1,102,568 5,802,667 3,088,939 44,291,543 46,499,873
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4			
	2,906,242円/人		100,432円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	-円/人		641円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

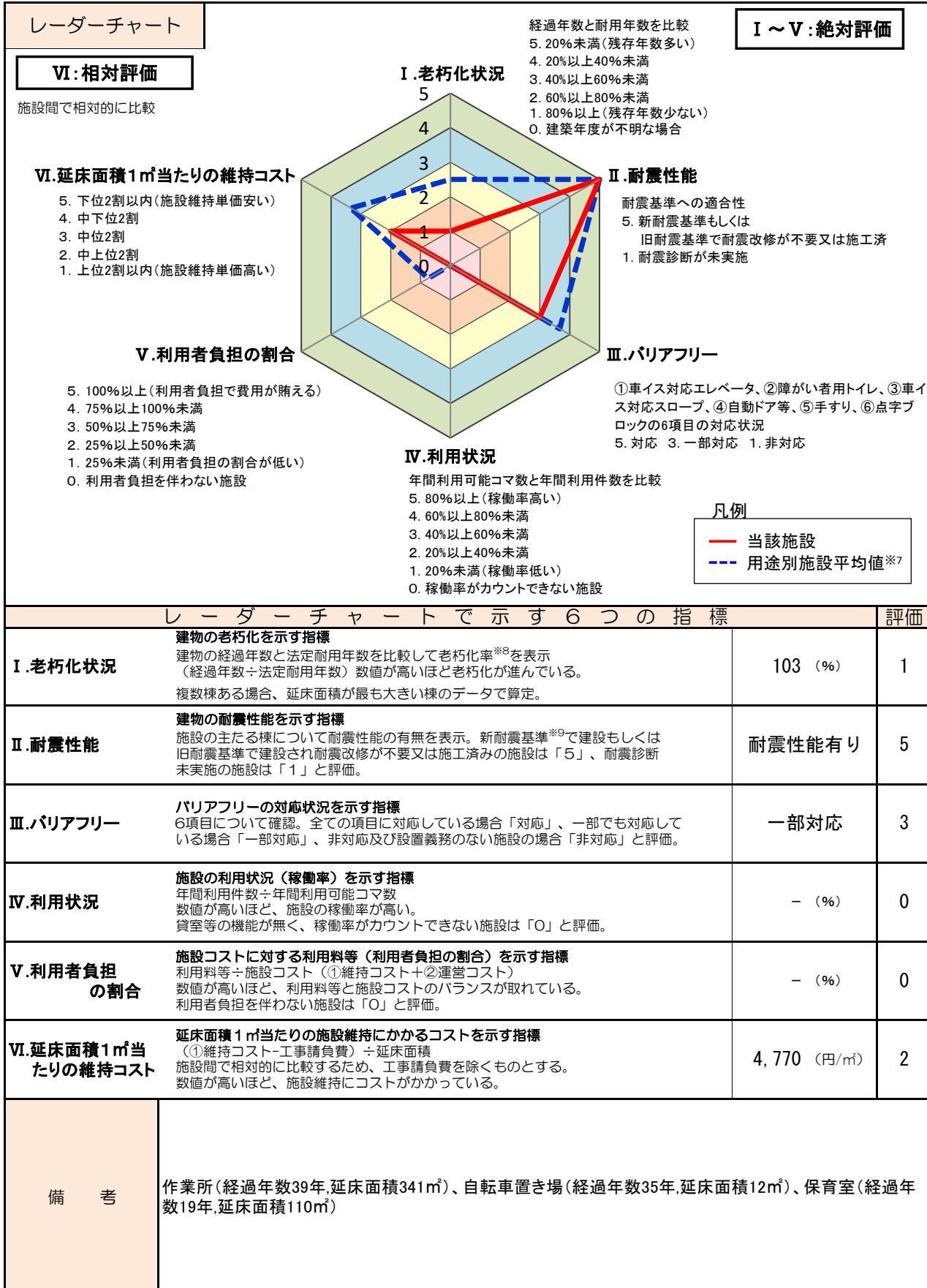
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されて
いる）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。